

2022年度看護師負担軽減計画

勤務状況	評価体制
■看護師数: 2022年4月1日現在 常勤 207名、非常勤 5名 ■看護師週平均業務時間: 2021年度実績 平均週 41.4時間(内残業 3.75時間)	■看護師負担軽減会を編成し、定期的に軽減会にて進捗管理を行う (構成員:副院長(委員長)、以下 看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、 リハビリ療法士、臨床工学士、総務人事課職員、医事課職員、医師事務作業補助者) ■軽減会を年3回(4月・10月・3月)開催して達成状況を確認する

部門/分野	現状・問題点	対応方針	具体的な方策	反省	達成年度
看護補助者	2022年4月診療報酬改定 ・看護補助者充実加算が新設された。	・医師からのタスク、シフティングでさらに業務の高度化で多忙を極める看護師をサポートするために、また、看護補助者の知識・スキルアップの向上を目指す環境を整えるために新設された。⇒周知していく必要がある。	・1回/月のケアスタッフ会での勉強会 ・ケアスタッフマニュアルの見直し ・看護補助者の業務範囲について周知し理解を促しチーム医療を充実していく。	中間達成 80%、 最終達成 %	2023年度
薬剤管理	1.病棟配置 2.薬の払い出し遅滞	1.病棟配置継続 2.薬の払い出し遅滞の回避	1.服薬指導、退院時の説明、残薬チェック、相談応需 2.業務優先順位の見直し、監査担当者の役割継続、個々のレベルアップ	中間達成 80%、 最終達成 %	2023年度
画像診断部	UCGを技師で行うことにより看護師の医師への要請を軽減させる。	UCGができる技師の育成	UCGスクリーナーとして専門性を高めるため研修、勉強会への出席をサポートする。	中間達成 50%、 最終達成 %	2023年度
臨床検査部	中央採血室での人員不足	検査室からの増員	若手の育成及び手技のレベルアップ	中間達成 60%、 最終達成 %	2023年度
リハビリセンター	患者能力(できるADL)が病棟での生活に活かされていないことがある	病棟活動度(安静度)の円滑な連絡	・獲得したADL能力を速やかに病棟に連絡し活動度の変更および療養支援カンファレンスでリハ進捗状況報告	中間達成 80%、 最終達成 %	2023年度
臨床工学部	呼吸器の管理が不十分。	呼吸器の保守管理業務の充実	呼吸器(侵襲的・非侵襲的に問わず)の臨床使用中の点検の強化。	中間達成 60%、 最終達成 %	2023年度
医事課	医事課として出来る対応の内容精査が出来ていない	病棟医事として、病棟への積極的な関りと、入院患者への入院時説明を漏れなく実施する	入院中の他院受診についての説明や高額療養費等の医療費についての説明を病棟担当職員が継続的に行うことで、看護師が本来の看護業務に専念できる体制を整備する	中間達成 90%、 最終達成 %	2023年度
総務人事課	・看護師、ケアスタッフ等退職者補充の迅速な対応 ・休暇規定等の周知	・退職者が出た職種に対しての迅速な人員補充体制の継続 ・改定された規定の周知	・ホームページのリクルートコーナーを遅滞なく更新する ・様々な規定に対して、取得しやすいよう周知体制を確立する。	中間達成 90%、 最終達成 %	2023年度

	時期	状況
進捗状況	4月	今年度の方針・方策の確認
	10月	中間達成度の報告
	3月	最終達成度の報告